ＯＢだより

第43号
発行
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会
事務局・広報部

第四十三回外大能


▲巴（イメージ）

今年は、能楽『巴』『羽衣』『小鍛冶』の三番といった豪華番組です。ＯＢ会からは舞囃子二番、仕舞十一番もの出演があります。ＯＢ連吟は『紅葉狩』。どうぞ振ってご参加ください。

（番組紹介は二頁）

ＯＢ総会を終えて

京都外国語大学能楽部ＯＢ会総会を去る八月六日に開催致しました。ご出席くださいました会員の皆様には厚くお礼を申し上げます。有難うございました。執行部の皆様には、引き続きお世話になります。宜しくお願い致します。

（新執行部の紹介は七頁）

総会議事録

【一号議案　ＯＢ会役員継続】
郵送部増員の提案。現郵送部の松田高雅君東京転勤を受け、郵送部強化を図り副部長として井上真一君が推薦され承認。

【二号議案　平成十七年度会計報告】
会計局代役として島谷会長より説明。続いて、会計監査報告について会計監査の丸岡さんより『平成十七年度会計監査を三月に会計監査の津田と丸岡が執り行った結果、収支等も整理され、収支の計算は正確でした。』との内容報告で承認。

【三号議案　各局からの報告など（要約）】
●会員局・・・今年、会員名簿を更新し発行します。
●広報部・・・ＯＢだよりに対するご意見・ご要望をください。
●企画部・・・今後も新企画を実現出来るよう頑張ります。
●執行部からの提案
一、長期構想としてＯＢ会独自の発表会開催を実現。
二、総会・懇親会案内状の発送に関しての郵送部活動の徹底。
三、総会及び懇親会幹事は卒業二年目のＯＢが中心となり企画部が補佐役として参与する。
四、企画部から、有志参加の旅行やハイキングなどの企画及び実行も斡旋する。

※議決条件は、出席者十六名、委任状四十名の合計五十六名。会員百三十五名の中、不明二十五名を除いて、百十名となり、過半数を満たしています。
※議事は事前に郵送しておりました内容に沿って進行し、司会を昨年度新会員となった木村君、議長は藤原が務めました。

（脚注：中面イメージ写真は檜書店発行『観世』より）

ＯＢ会の諸先輩方へ。

部長　石黒真由



平成十八年十二月三日、第四十三回外大能を河村能舞台におきまして開催させて頂ける運びとなりました。今年もこのように外大能を催させて頂けることは大変嬉しく、同時に橋本礒道先生、橋本忠樹先生をはじめとします諸先生方の御指導、ＯＢ会の皆様の御援助、御支援の上に成り立っているということを感慨深く思います。この場をお借りしまして心より感謝し、御礼申し上げます。

今年の外大能は、「巴」「羽衣和合之舞」「小鍛冶」の能楽三番、舞囃子三番、仕舞五番、そしてＯＢ、ＯＧの先輩方の舞囃子一番、仕舞十一番という番組となっております。今年も大勢のＯＢ、ＯＧの先輩方に御参加して頂けますこと、重ねて御礼申し上げます。私共現役部員は、本番に向かって日々練習を重ね、一人一人が良い舞台にしようと努力しております。

お仕事等で御多忙中とは存じますが、是非一人でも多くの先輩方の御来場を心よりお待ち申し上げております。

【執行部の紹介】

部長兼会計／石黒真由（3）
副部長
兼外大能実行委員長／氏平ちせ（3）
外大能会計
兼連盟副委員長／岸本充雄（3）
渉外／西村文香（2）
渉内／花野仁美（2）

※（　）は回生

平成十八年十二月三日（日）十時半始メ

第四十三回 外大能 番組（簡略）

河村能舞台

連吟　**養老**　部員一同

能　**巴**　星　裕子／久世真実

仕舞　**邯鄲**　楽アト　花野仁美
玉鬘　勝田結衣
大江山　福田華子

松虫　クセ　井口すずな
菊慈童　西村文香

舞囃子　**敦盛**　石黒真由
天鼓　氏平ちせ

招待出演　立命館大学能楽部

能　**羽衣**　和合之舞　内田麻也

仕舞　**屋島**　松田陽一（ＯＢ）
班女　舞アト　土井智代（ＯＧ）
玉乃段　井上愛子（ＯＧ）

仕舞　**嵐山**　キリ　木村与宣（ＯＢ）
俊成忠度　キリ　井上真一（ＯＢ）
松風　杉森伸子（ＯＧ）
鉄輪　兵道亮太（ＯＢ）

賀茂　松田高雅（ＯＢ）
田村　キリ　奥田圭一（ＯＢ）
花筐　狂　村城まどか（ＯＧ）

野宮　島谷直美（ＯＧ）

舞囃子　**熊野**　村雨留　越智公子（ＯＧ）

猩々　岸本充雄

連吟　**紅葉狩**　ＯＢ・ＯＧ

番外仕舞　**柏崎**　道行　橋本雅夫

東方朔　橋本忠樹
橋本礒道

能　**小鍛冶**　塚田智恵
高尾智憲

附祝言

★必ず足袋をご持参ください。
多数のご参加をお待ちしています。

新ＯＢ会員紹介

★年度代議員（五十音順）



会員 No.137
★坂本仁美

この度、ＯＢ会に加えて頂き、大変嬉しく思っております。昨年の外大能では京都観世会館で念願のお能を出させて頂いたこと、礒道先生、忠樹先生をはじめＯＢ・ＯＧの先輩方から惜しみないご支援を賜りましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

能楽部で過ごした四年間は本当にかけがえのない思い出となりました。たくさんの先輩方や後輩に囲まれて、楽しい学生時代を過ごさせて頂きました。クラブを続ける上で色々とありましたが今は四年間能楽部を続けて本当によかった、と思っています。クラブを通じて学び得たことは私にとって大きな財産となりました。

卒業して早半年。社会人になるとどうしてもお能から離れがちになってしまいますが、やっぱり私はお能が好きなので時間があれば能楽堂へ行ってしまいます。これからは少しでも後輩達の力になれるように努めていきたいと思っております。皆様、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



会員 No.138
渡邉けい子

この度、新しくＯＢ・ＯＧの皆様の仲間入りをさせていただくこととなりました渡邉けい子と申します。どうぞよろしくお願い致します。

今こうしてＯＧという立場になり、改めて学生時代を振り返ってみますと、私の能楽部の現役時代は、本当にあっという間の歳月であったと感じております。それと申しますのも、私は大学三回生の時に他大学より編入学を致しました。そのため、能楽部では実質二年間しか活動をしておりません。途中からの入部に、最初は焦りの気持ちが多くありましたが、周りの皆様が温かい気持ちで見守ってくださったため、次第に自分のペースで出来るようになりました。活動期間はとても短いものでしたが、在学中には皆様に大変よくしていただき、お陰様で、貴重な出会いに恵まれ、そして自分の糧になったと実感しております。いつも思うことですが、私は他ならぬ京都外国語大学の能楽部と出会えたからこそ、ここまで続ける事が出来、また人としても成長させていただいたと実感しております。本当に感謝の気持ちでいっぱいで、この喜びを常にかみしめなければいけないと思っております。こうした気持ちを大切に、これからは少しずつ還元していけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



◀羽衣（イメージ）

（脚注：中面イメージ写真は檜書店発行『観世』より）

特集 OB・OGの『ちょこっとコメント』

昨年度は第四十二回創部四十五周年記念外大能でした。舞台に出演されたＯＢ・ＯＧの皆様から簡単な感想を頂きました。舞台に立つ喜びだけではなく何よりも現役達を心から応援している気持ちが伝わって来ます。どうぞ皆さんも連吟だけの応援でも結構です。今年もたくさんの方々が外大能に駆け付けてくださることを心からお願い申し上げます。今は無理でもいつの日か、またあの舞台に立ってみてください。

（五十音順）

仕舞 笹之段

ＯＧになって初めての外大能は、現役の時とは違う不安と緊張感がありました。毎日のように練習していたあの頃に比べたら練習量は圧倒的に少なく、なかなか型が覚えられず苦労しました。卒業して一年も経たないのに舞台に立つのが怖くなり「来年はもう、遠慮しようか…」と思ったものの、やはり一度舞台に立つと、不思議と「来年も頑張りたい！」という気持ちになります。

今年も出演させて頂けることになりました。精一杯努めさせて頂きます。宜しくお願いします。

井上愛子

仕舞 女郎花

卒業して数年経ちましたが稽古を始めると不思議と現役の時と同じような気持ちになります。また本番の舞台を一生懸命勤める現役の方々の姿を見て自分も頑張ろうという気持ちに毎年させてもらっています。今年も仕舞で出演させて頂きます、宜しくお願い致します。

井上真一

能楽 鉄輪

演能決定は、その二年前の打ち上げの席。その年は愛知県におり、京都に通うこともままならず。ただ次の年には京都に移る予定をしていた。まあ、そうでもなければ、能などできる由もなし。謡の覚え始めは十二月末。四月に都入りし、先生のお稽古に通い始める。

一番の苦労は喉の調子。それまでの積み重ねがあるはずもなく、お稽古場ではゲホゲホと背を丸めるばかり。手軽な発声場にと選んだ桂川の堤。見返れば団地のベランダに不審顔がチラホラ。昼間の閑散時にはボックス通い。風呂敷包みの笠を抱え、いざ旅立ちとまるで時代劇。若人からの冷ややかな視線には無視を決め込むが勝ち。

振り返れば、学生時代と同じで練習の積み重ね。それさえあれば、多少のトラブルも自然に体が動いてくれる。なによりも稽古。稽古は強かれ。

奥田圭二

舞囃子 松風

昨年の外大能では、舞囃子「松風」を舞わせて頂きました。ＯＧとなって初めて参加させて頂いた外大能。練習量も現役の時に比べて、ぐんと少なく決して納得のいくものではありませんでした。でも、舞台に立った時の緊張感、間近で聞く地謡とお囃子に、わくわくする気持は、現役の時と変わっておらず、舞っている時は楽しい気持でいっぱいでした。これからもお稽古を続けていきたいと思います。

越智公子

舞囃子 花月

昨年の四十五周年「外大能」は三回目の観世会館での記念会でした。ＯＢ能を始め、舞囃子、仕舞と多数のＯＢの方々が参加して下さり、現役と心一つに素晴らしい会を作り上げる事ができました。私も舞囃子「花月」を舞わせて頂き、ＯＢお稽古会を通して参加された若いＯＢの方々と、とても楽しい時を持つ事ができました。この外大能楽部の四

十六年の伝統をこれからも皆さんと共に守り続けたいと思っています。今後共御協力の程心よりお願い致します。　島谷直美

仕舞 井筒

週末の練習とその後の一杯を楽しみに一週間頑張る、そんな季節が再びやってきました。昨年、ＯＧ一回生として仕舞「井筒」を舞わせて頂きました。練習量は激減してしまいなかなか思うようにはいきませんが、仲間達との現役の時のような練習、緊張感漂う舞台は私にとって何物にもかえがたい幸せな時間です。今年もまた舞台に立たせて頂けることを嬉しく思います。現役に負けないよう今の自分の精一杯を尽くし、共に最高の舞台を創りたいと思います。　土井智代

仕舞 笠之段

秋口にお稽古していると、外大能はもうすでに始まっているのだなと感じます。

観世会館で行った前回の外大能もその前年の外大能が終わると同時に始まっている様な気がします。毎年、その少し乗り遅れ気味で始まるお稽古の真剣さが忘れられません。　兵道亮太

仕舞 清経

昨年度は創部四十五周年記念外大能でした。その大舞台に仕舞『清経クセ』で出演させて頂けたことを光栄に思います。仕事との両立で十分な練習も積めずに本番に挑むのは毎年のことですが、やはり外大能の当日は、現役時代の清々しい感触が全身に甦りました。今後も、このクラブを誇りに活動を続けて行きたいと思います。　藤原敏起

仕舞 花筐

卒業してはや三年目になります。年を重ねるごとに、能楽部で過ごした時間と空間がどれほど貴重なものだったかを感じます。ＯＢとなってからは思うように練習には行けませんが、現役の時とは変わらぬ想いで今年の舞台も臨みたいです。朝晩の冷え込みに外大能の近づきを肌で感じながら…。　松田陽一

仕舞 山姥

卒業してから三度目の外大能…。普段なかなか練習しないせいでどんどん下手になっていく自分を実感しています…。現役で頑張っている後輩達から「さすが先輩！」と言ってもらえるように頑張りたいです！

『去年より今年、今年より来年、もっといい会にしよう！』そんな気持ちでいつまでも外大能が続いていきますように☆　村城まどか

仕舞 巴

仕舞「巴」を舞わせていただきました。長刀のあつかいには終始疑問だらけで、舞台上でも長刀が手から滑り落ちるのではないかという不安でいっぱいでした。

ＯＢの稽古会ではいつも笑いにあふれていた気がします。もちろん緊張感もありましたが、何かと笑わせてくれる先輩や、稽古後、食事に誘ってくださる先輩方のおかげで、いつも和気藹々としていました。現役時代は日常だったあの懐かしい空間、昨年は非日常の空間として楽しませていただきました。　安元麻衣子



◀小鍛冶
（イメージ）

（脚注：中面イメージ写真は檜書店発刊『観世』より）

祝 ご結婚

井上真一くん
愛子さん（旧姓 鴨川）

私たちは、去る八月二十六日に結婚致しました。この場をお借りしてご報告申し上げます。式当日は、島谷会長をはじめ、たくさんのＯＢ会員の皆様にご列席賜りました。二次会には現役の四回生も駆け付けてくれ、会場の雰囲気を更に盛り上げてくれました。クラブを通じて知り合った私たちは、毎日のように練習で顔を合わせ、たくさんの時間を共有するうちに、いつの間にか魅かれ合っていました。そんな私たちをあたたかく見守って下さった皆さんに祝福して頂けて、本当に幸せです。改めて、能楽部は家族のような暖かいクラブだと思いました。

これからは夫婦会員としてＯＢ会のお役に立てるよう努力致します。まだまだ未熟な二人ですが、これからもどうぞ宜しくお願い致します。



現役達の横顔

毎年、現役部員達が外大能にちなんだ内容やその年の能楽部のテーマでオリジナルＴシャツ（左写真は本年度版）を作成しています。Ｔシャツの加工は専門の製作会社さんにお願いして、外大能のパンフレットに掲載する広告（広告費）を頂いているようです。しっかりとした生地のＴシャツですのでお値打ちものです。数多くの注文が有れば、広告費にも反映されるかも知れません。舞台に参加するＯＢ・ＯＧの皆さんは購入して練習で着用されています。来年度分より、Ｔシャツ購入をご希望される方があれば現役部員にお問い合わせください。



平成十九年度　演能のご案内

講師、橋本礒道先生、忠樹先生の平成十九年度、演能のご案内です。是非、先生方のお能をたっぷりとご堪能ください。

一月十四日（日）観世例会　於京都観世会館
能楽　岩船　シテ　橋本忠樹先生

一月二十一日（日）聲寿会能　於京都観世会館
能楽　善界　白頭　シテ　橋本礒道先生　ツレ　橋本忠樹先生

六月十七日（日）片山定期能　於京都観世会館
能楽　邯鄲　シテ　橋本忠樹先生

十月二十七日（土）片山定期能　於京都観世会館
能楽　雨月　シテ　橋本礒道先生　ツレ　橋本忠樹先生

十一月二十五日（日）観世例会　於京都観世会館
能楽　安達原　白頭・急進の出　シテ　橋本礒道先生

ＯＢ会　執行部役員（任期四年）

《敬称略・卒業年度順及び五十音順》

会長　島谷直美
副会長　奥田圭一
会計　濱田奈弓
副会計　杉森伸子
会計監査　津田弘文
丸岡嘉容子
事務局長　藤原敏起
副事務局長　松波浩之
三谷直樹

《事務局》

広報部長　藤原敏起《事務局長兼務》
副部長　石水真理　須田啓子
会員部長　奥田圭一《副会長兼務》
副部長　東館織恵　出水美智　栗山藍
企画部長　三谷直樹《副事務局長兼務》
副部長　田中ゆう子　兵道亮太
郵送部長　松波浩之《副事務局長兼務》
副部長　宮崎正人　川上真紀
小西万美　井上真一
部員　松田高雅　松田陽一



執行部からのお知らせ

■会費未納の方へのお願い

毎年、執行部からお願いしております会費未納の方々へのお知らせです。ご存知の通り会費は外大能を支援する大切な資金源です。現役部員達が毎年立派な舞台に立つことが出来るようOB会で応援するという会の役割と趣旨をご理解頂き、未納分の一括納入が無理な方は、まずは本年度分だけでも結構です。一日でも早く納入して頂きますよう、ご協力の程 宜しくお願い致します。

■会員部からのお願い

本年度更新のOB会員名簿に誤りや変更等がございましたら、お手数ですが下記専用アドレス、もしくは外大ボックス宛にハガキでお知らせくださいますよう宜しくお願い致します。

専用メールアドレスとホームページのご案内



『OB会執行部宛の専用アドレス』

➡ gaidainoh@yahoo.co.jp

京都外国語大学能楽部OB会執行部宛の専用アドレスです。ご意見やお問い合わせなどございましたらご活用ください。

『京都外国語大学能楽部のホームページ』（サイト名）

➡ http://www.kufs.ac.jp/student/nogaku/index.html

能楽部の現役が管理しているサイトです。
部員の紹介をはじめ、外大能のお知らせなど楽しいホームページです。是非一度ご覧ください。

『観世流能楽師 橋本忠樹のホームページ』（サイト名）

➡ http://www.k2.dion.ne.jp/~t7d7/index.htm

橋本礒道先生とご一緒に外大能楽部講師としてご指導くださっています橋本忠樹先生のホームページです。能楽の解説をはじめ能楽界にまつわる様々なお話が分かり易く解説されています。興味深いコンテンツが盛り沢山です。中でも、徒然日記は必見です。

会計局から 会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円

前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。

［振込先］
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会

編集後記

今年こそは段取りよく進める予定（総会の頃までは）だったのですが、やはり間際に追い込むことになりました。何より今回は皆さんの協力無しでは完成しなかったと思います。急に原稿をお願いした方々有難うございました。次回はゆったり気分で作成出来る様、心掛けます。新しい企画や提案、そして掲載情報をお待ちしています。

《ＯＢだより第43号》
◎編集責任者　藤原敏起
（編集委員／石水真理・須田啓子）
◎発行責任者　島谷直美